



志津南

4月号 news

志津南ホームページ
<https://shizu373.net>

志津南学区の人口 (2/29 現在)
 世帯数 2,520 総人口 6,687 人
 前月より -10 人

発行
 志津南学区まちづくり協議会
 Tel(fax) 077-563-6206
 E-mail shizu373@machikyou.jp

各種団体代表者定まる

令和6年度各種団体の代表が下表のように定まりました。

委員会名	代表者
環境美化委員会	稲岡 豪将
交通防犯委員会	石田 治郎
人権教育推進委員会	森下ちひろ
ふれあい推進委員会	馬場 正尚
スポーツ振興委員会	小崎 裕一
青少年育成委員会	金田 達也
社会福祉協議会	河辺 達也
健康推進員連絡協議会	田井 和子
民生委員児童委員協議会	浅野 謙一
志津南小学校PTA	服部 聖子
草津栗東交通安全協会支部	素野多加美
少年補導委員会	佐藤 恵子

第6回理事会で審議する理事の皆さん



志津南学区まちづくり協議会(四方道治会長)は3月2日、まちづくりセンターで第6回理事会を開催しました。令和6年度の活動計画と予算

して「学区防災のありかたを考える」特別委員会を設置し、地震等の災害へどう備えるのか、災害時にどう動くのか、といった観点から、学区の現状把握と

案の内容が、大筋承認されました。今後、3月末の新旧合同理事会、4月21日の令和6年度定時総会での承認を得て、成立となります。負担軽減へ向けた「事業・組織の見直し」は、まち協正副会長が牽引する形で、令和7年度を睨んだ第2弾の内容を9月までに固める方針です。新たな取り組みと

「防災を考える」特別委員会設置

6年度活動計画・予算成立へ

課題抽出に繋げる提案が会長から出されました。喫緊の課題であることから、令和6年度の重点項目として取り組み、リーダーにまち協会長が当たる事になりました。令和7年度には、草津市の協力の下「地域防災計画

の策定をしたと、そこへ繋がったこの計画です。特別委メンバー募集 志津南学区まちづくり協議会は、「学区の防災を考える」特別委員会のメンバーを次の要領で募集します。▽応募資格 防災に関心があり地域の防災を一緒に考えていただける学区内住民

(経験・年齢・資格不問)▽内容 学区内の現場確認等を含め、月に1回程度の活動▽活動期間 令和6年6月〜令和7年3月▽締め切り 5月7日(火)▽応募・問い合わせ先 志津南まちづくりセンター 電話(563) 6206 shizu373@machikyou.jp 担当 長谷川

思い出の写真展 盛況



ちってこれた方々の活躍の場面などを、模造紙いっぱい表現しました。写真展には、毎日、10〜25人程の方が訪れ、当時の話をしながら楽しそうに見ていました。「当時の事を思い出し懐かしい」「夏祭りも大変だったが楽しかった」「サークルもボランティアも盛んなまちになったね」など多くの声をいただきました。

若草町内会は昭和59年に発足し、平成10年に岡本町西町内会が加入。平成26年にかやきの丘町内会、追分鴨田町内会、コーシーガーデン自治会が加入し、志津南学区となりました。さらに翌27年に追分南町内会が加わり、現在の志津南学区になりました。この写真展を通して、これまでを育んできた先人のパワーをいただき、各地域の特性を活かして協力し合い、さらに住みよい地域にしていきたいと改めて考える機会となりました。

志津南まちづくりセンターは、地域サロン「志津南アンサンブルパワー」の協力を得て、3月2日より30日までセンターサロンで、「思い出の写真展」を開催しました。展示会場では、開発当初の写真をはじめ、30年以上経った現在の写真、そしてこのまちを作

センター人事異動

志津南まちづくりセンターでは3月末で、2年余にわたり地域の皆さんとまちづくり協議会をつなぐ職務にまい進してこられた廣嶋耕一さんが退職されました。4月1日付で、新たに山元優子さんが職員として赴任さ

れます。▽山元 優子さん 4月1日よりお世話になります。不慣れでご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、一日も早くお役にたてるよう頑張ります。よろしくお願いたします。



くるみ 学校生活楽しんでね

緑波くるみこども園(服部登志夫園長)は3月20日、卒園式を実施しました。50人の年長さんがこども園を巣立っていきました。

今年度の卒園生は、9つの小学校に分かれて1年生になります。楽しい学校生活を送れるよう、いつまでも応援していきます。



高穂中学校(作田まさ代校長)は3月12日、第40回卒業証書授与式を行い、343人が卒業を迎えました。

季節変わりの恵みの雨の中、久々に来賓の方々にもご臨席いただき、式典が一層華やかに



高穂中 それぞれの分野で活躍を

校長は祝辞の中で、「創立40周年はここにいる卒業生を中心に、生徒の皆さんの頑張りが社会に認められた瞬間でもあり、



あいさつ運動表彰式
 青少年育成委員会(山本晃一委員長)は2月24日、あいさつ運動啓発作品の表彰式を志津南

高穂中学校が新たな歩みを始めた瞬間でもあります。母校を誇りに思い、それぞれの分野で活躍され、一人ひとりの幸せが守られる平和な社会を創ってください」と卒業生の背中を力強く押ししました。

選考は難航を極めました。学区代表賞、最優秀賞、特別賞各1人、優秀賞7人、入賞9人を選出しました。

受賞者
 ▽学区代表賞 堅田滯
 ▽最優秀賞 芝山樹
 ▽特別賞 東川汐暖
 ▽優秀賞 池田昂太郎 中野陽花 及部茉依 室野優月 安井楓 松原暖真 秀熊こまり
 ▽入賞 古川礼 田原怜奈 鈴木馨太 濱田幸音 松宮颯音 西山蒼人 他3人

小学校の三段飾り



まちづくりセンターで実施しましたII写真。学区内の小・中学生を対象に募集し、854件もの応募の中から選考しました。応募作はどれもあいさつの大切さや重要性が伝わるもので、

地域の方手作りのお雛様が小学校ロビーに飾られました。そこに四年生児童三人のアイデアで手作りのぼんぼりと金の屏風が加わり、可愛くて華やいた三段飾りになりました。



センターにも折り紙のかわいい五人囃子が登場。眺めていると、優しい気持ちになれるような。

若草文庫に飾られた立派なお雛様。優しきまなざしで集まってくる子ども達をむかえていきます。



センターの五人囃子



今月の志津南文庫

「志津南文庫」は、志津南まちづくりセンターサロンの一角を利用し、地域住民の方に、図書館まで出さなくても、図書館でお借りした図書を(100冊程ですが)、貸し出すコーナーです。

4月は、年度初めの関係上、「志津南文庫」に図書を置かせていただくのが、4月中頃になります。

これまでたくさんの方にご利用いただいています。貸出本のリクエストカードも設置していますので、今年度もご利用お待ちしております。



わかくさ号巡回予定
 移動図書館「わかくさ号」の巡回日時は次の通りです
 巡りがやきの丘町内会館
 日時 毎月第2木曜日
 午後3時10分〜3時40分
 ▽志津南まちづくりセンター

日時 毎月第4木曜日
 午後4時〜4時30分
 祝日と重なる時は、巡回する日の変更となります。また、交通事情等で時間が多少前後する場合があります、悪天候により運行を取りやめることがあります。

お元気ですか



安心して暮らせるよう、安否確認と孤独感の緩和を図ることを目的に、民生委員が自宅を過ごしておられる85歳以上1377人のお宅を訪問し、ささやかな長寿のお祝いを届けました。

志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は、2月中旬、恒例の友愛訪問を実施しましたII写真。
 高齢者が住み慣れた地域で、

「お元気にされていますか」「お困り事はありませんか」などと声をかけ、ゆっくりにお話をすることができました。
 今回は、皆さんの状況把握するためにアンケートも行った、今後の見守り活動に繋がっていきます。

自分らしく輝けますように

志津南小学校(山田谷子校長)は2月26日からの一週間に「六年生を送る週間」と定め、五年生が中心となって取り組

みを進めました。

お昼の放送を「お祝い放送」として、各学年で作った「六年生へ送るメッセージ動画」を送り、3月1日には、「六年生を送る会」を行いました。

「送る会」会場に六年生を迎える在校生



「送る会」は、各学年ごと

子どもたちの思い キッチンと受け止めて

小学校での数々の思い出を胸に、六年生一人ひとりが、中学校でも自分らしく輝いてくれることを祈っています。



(上) 中央公園に設置されたかわいい看板
(下) やまのこかるた



2学期に「森林に学び森林と友達になろう」のテーマで

環境V地震に義援金

義援金を手渡すメンバー



志津南環境美化ボランティアの会(舟木要二代表)は3月4日、草津市社協を訪ね、能登半島地震への義援金を手渡しました。

同会は平成25年に設立され、長年にわたり地域の環境整備ボランティア活動を展開してきました。

学習したことを、手製の「植物図鑑」や「やまのこかるた」にまとめました。ぜひ多くの方に手に取ってほしい出来栄です。

3学期には「住みよいまちづくりに向けてできること」を考え、前日の13日には、学校ボランティアの方々や校区のゴミ拾いに出かけ、捨てる準備のために、皆でゴミの分別をしたそうです。

持って来てくれたアイデア

2月6日及び15日の両日に行ったり、若草第五集会所で、今後の活動方針などについて審議が行われました。

その結果、令和6年度はこれまでの活動体制を一旦リセット

芝桜 FMくさつで紹介

志津南芝桜プロジェクト(大橋稔代表)は2月20日、FMくさつの「くさつコミュニティTime」の収録に臨みました。



FMくさつでの収録風景

この番組は、まちづくり活動やボランティア活動に取り組む団体を紹介する番組で、3月4日と11日に放送されました。花が咲く期間は一か月ほどしかなく、年間を通じ雑草取りやたい肥の漉きこみ等に追われているメンバーですが、わざわざ足を止めて「きれいですね」「行き帰りのバスで、芝桜が見える側の席に座ります」といった声に励まされ、仲間との交流を楽しみながら、芝桜が人々の癒しになれば良いとの思いで活動していると紹介されました。

「くさつ」の会

自分のペースで色鉛筆画に取り組んでいます。指導していただいているのは、油彩画、色鉛筆画と幅広く活躍されている湖南市在住の洋画家榎原喜六先生です。初回は先生の水彩画を紹介します。

「茅ぶきの郷」

日本の原風景を描いています。子どもの頃は多くの家屋が茅葺きでした。



「くさつ」の会は2008年4月から活動を始めて、もうすぐ16年になります。60才から90才の幅広いメンバーが集まり、レッスンから完成までそれぞれ



こんにちは。色鉛筆画「くさつ」の会です。

今年度は、私たちの色鉛筆画を掲載させていただきます。

身近な危険にどつきり

講師の話に真剣に耳を傾ける参加者



安全協会志津南支部(秦野多加美代表)から、5人を講師に迎えました。

「いつまでも安心して暮らせるために」のDVDを鑑賞後、学区在住の指導員が、普段の生活の中で見かける身近な道路や

誰でもウェルカム

版画に挑戦するちびっ子画伯



交差点等での「はっとする場面」や「危険行為」について話しました。指摘された危険性に少しどつきり。年齢を重ね、さらに注意や用心が必要になってくることなどを認識できました。繰り返すしこのような学習の機会をもつことの大切さを感じました。

若草おやこっこクラブ(山出聡子代表)は3月7日、お別れ会を開催。親子4組が参加し、卒業記念版画とパネルシアターを楽しみました。

志津小 PTA ベルマークにご協力を

志津南小学校PTA(服部聖子会長)は、子ども達の「ベルマーク委員会活動」を手伝っています。集めたベルマークで、子ども達が使う学校の遊具や用具を購入しています。

これまで、近隣店舗やまちづくりセンターに回収箱を設置させていただいていましたが、令和6年度より学校のみで回収することになりました。併せて



インクカートリッジ(EPSON、brother、Canonの正規品のみ)も回収します。回収箱はベルマーク・インクカートリッジ共に、志津南小学校来賓用玄関入ってすぐ右側に設置します。

これまでも地域の皆様にはたくさんのご協力をいただきありがとうございました。引き続きよろしくお願いたします。

史跡探訪ご案内

志津南まちづくりセンターは、令和6年度「史跡探訪」受講生を次の要領で募集します。

今年度のテーマは「光る君へ」源氏物語・紫式部ゆかりの地を訪ねて。館外講座3回と館内講座1回で実施します。

① 5月22日(水) 京都平安京創生館・平安宮跡・御所・蘆山寺

② 6月26日(水) センターでミニ講座

③ 8月7日(水) 伊香立神社・比叡山横川恵心堂・大津歴史博物館

④ 9月25日(水) 三井寺・石山寺

▽定員 先着25人

▽受講料 全4回2500円

(館外保険代含む) 昼食代及び入館料等は、各自実費負担

9時〜志津南まちづくりセンター窓口へ受講料を添えて。定員になり次第締め切ります。やむを得ない理由で場所日時等変更する場合があります。パソコンの駅

▽4月25日(木) 5月25日(土) 13時〜16時

まにまに社協です 東アジアとの友好を目指す拠点を訪ねて

「芳洲庵」で熱心に講話を聞く参加者



ふれあいハウス「絆」は、地域の皆様がいっしょでも気軽に集える居場所として、ふれあいと憩いの場作りを始めて13年目に入りました。ますます充実を目指し活動が続ける中、休館日の3月1日、ボランティアスタッフ18人が研修に出かけました。

今回は、湖北観音の里、長浜市高月町の「芳洲庵」(ユネスコ世界の記憶に登録)を訪ねました。ここは、江戸中期、東アジア朝鮮との外交に活躍した儒学者「雨森芳洲」の出身地で、人と人との交流を大切にしたいその理念を学ぶことが目的です。

樹齢300年(幹周6.6m 樹高15m)とも伝わる大きなケヤキの木(楓の木)に迎えられ、静かな落ち着いた佇まいの「庵」

では、芳洲の思想や業績を知ることが出来ます。特に江戸中期の頃、芳洲が深く関わった朝鮮通信使の450〜500人の行列が江戸をめざした様子や献上品などの展示が見られました。

また芳洲の外交理念「誠信交隣」(互いに欺かず争わず、真実を以て交わる)を内外に発信しながら、外交、国際交流・人権学習として訪日する中・高生たちの友好と交流の拠点であることなど、館長の平井先生からユーモアたっぷりの講話を聞くことができました。

高時川の空を450匹のこのぼりが泳ぐ高月町の故郷づくりの紹介など、映像を通して聞き・知る・学ぶ有意義な研修となりました。